

枝野幸男は

『多様性を認め合い、困ったときに
寄り添い、お互いさまに支え合う。』

そんな日本を目指します。

私は、国民生活を守るため、安倍自民党の下で進んできた政治の流れを、一日でも早く反転させなければならないという、強い危機感を抱いています。そして、政権の担い手となりうるのは、民進党以外にないと確信しています。

政権の担い手となるには、個人の人気や一時のブームに頼るのではなく、幅広い国民の暮らしに寄り添う地域の基盤が不可欠です。地方自治体議員の皆さん、候補予定者の皆さん、党员・サポーターの皆さん、そして、それを支えてくれる支援者や応援団の皆さん。厳しい中でも旗を掲げて頑張っている皆さんこそが、民進党の宝です。私は、政権の担い手にふさわしい、さらに確固たる地域基盤を確立すべく、先頭に立ちます。

私たちは、自民党と明確に異なる、あるべき社会像を持っています。異なっているからこそ、政権の担い手となれます。第二自民党では、本物に勝てるはずがありません。民進党は何を目指しているのか、違いを鮮明にして、より明確な旗を高く掲げます。

私は、まだ 53 才ですが、危機に立ち向かい苦闘するリーダーを、何度となく、一番近くで支えてきました。その貴重な経験を、民進党にとって一番厳しい今こそ生かすことが責任であると決意し、初めての代表選挙に挑戦しました。

この代表選挙の目的は、安倍政権を倒すことです。安倍総理と本格的に闘う上で、私こそが最強の相手となりうるという自負をもって、全力で代表選挙に挑みます。そして、結果如何にかかわらず、皆さんと力を合わせて、民進党を前進させていく決意です。

日本のため、民進党のため、枝野幸男をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成 29 年 8 月 21 日

衆議院議員

枝野幸男

枝野幸男は

『多様性を認め合い、困ったときに寄り添い、お互いさまに支え合う。』

そんな日本を目指します。

「認め合い、寄り添い、支え合う」社会のために

高く掲げる三つのポイント

1. 自己責任と自由競争を過度に煽る政治から脱却し、お互いさまに支え合う仕組みを取り戻します。医療や介護の充実、子どもたちの可能性が等しく保障される子育てや教育の支援、失業や貧困、障がいや難病などに苦しむ人の下支えを進めます。非正規雇用を減らし、過労死を招く長時間労働を厳しく規制します。可処分所得を押し上げ、雇用を増やし、消費不況から脱却させます。
2. 一日も早く原発ゼロを実現するため、最大限の努力をします。原発ゼロ法案をとりまとめ、年内にも国会提出することを目指します。
「責任ある避難計画の策定」など、前提が満たされていない状況で、再稼働を認めることはできません。
3. 立憲主義を破壊し、専守防衛を逸脱した集団的自衛権の一部行使容認は認めません。これを前提とした憲法9条の改悪と、徹底して戦います。
自由と民主主義、国民の人権と暮らしを守るために必要な憲法改定があるのか。知る権利、解散権制約、地方自治の3項目を中心に、引き続き検討を進めます。

さらに、私が一貫して取り組んできた次の課題も、民進党の明確な姿勢です。

- 徹底的な行政の透明化-情報公開法、公文書管理法、特定秘密保護法の見直し
- 多様性を認め合う-女性や障がい者、性的マイノリティーの実質的な権利保障

地域基盤確立のために、選挙に勝てる体制を作ります。

- ◆ 総選挙に向けた財政支援などを、最大限強化し、前倒しします。
- ◆ 統一地方選挙対策の専門部局を設け、地方組織と緊密に連携、支援します。
- ◆ 連合等の応援団と連携し、参議院選挙に向けた候補者擁立作業を進めます。
- ◆ 地方の声を、政策決定プロセスに反映させる体制を作ります。

◇ 他党との連携は、民進党の理念のもとでの政策の前進が前提です。そして、民進党の支持者や応援団の理解が不可欠。その範囲の中で、最大限の効果を上げることに努力します。